

ボツリヌス治療外来

当院では、脳卒中後遺症の上下肢痙縮に対する治療のひとつとしてボツリヌス治療を行っております。

1. 診察 ※事前予約制、要紹介状

身体機能を含めて痙縮を評価し、適応の有無を判断します。
適応が認められたら、ボツリヌス製剤注射の施行日を予約します。

2. 注射

ボツリヌス製剤を注射します。

3. リハビリテーション

必要に応じてリハビリテーションを施行します。

※介護保険によるリハビリテーションとの併用はできません。介護保険を利用されている場合は、ケアマネージャーにご確認ください。

4. 診察(注射2週～3ヶ月)

注射およびリハビリの効果に適宜評価します。

5. 診察(注射3ヵ月以降)

再注射の適応について判断します。

6. 再注射

再度ボツリヌス製剤を注射します。

